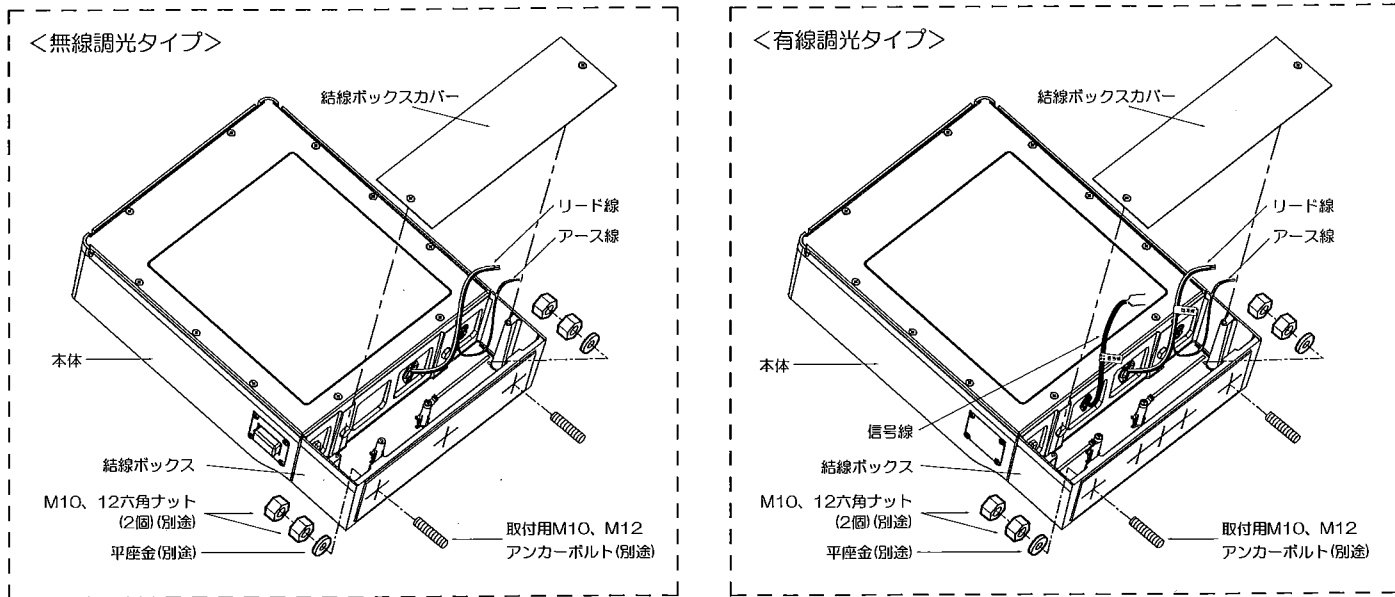


◆各部の名称



◆仕様

区分	型番	配光	ランプ色	調光方式	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
9000TYPE	SXB6001S	フロントワイド	12000K	無線調光	50Hz/60Hz	AC100V	845mA	83.1W
	SXB6002S	フロントナロー	~1800K					
	SXB6003S	ワイドフラッド	カラー調色					
	SXB6001S-L	フロントワイド	12000K	有線調光	50Hz/60Hz	AC200V	425mA	81.7W
	SXB6002S-L	フロントナロー	~1800K					
	SXB6003S-L	ワイドフラッド	カラー調色					
5500TYPE	SXB6004S	フロントワイド	12000K	無線調光	50Hz/60Hz	AC100V	544mA	52.1W
	SXB6005S	フロントナロー	~1800K					
	SXB6006S	ワイドフラッド	カラー調色					
	SXB6004S-L	フロントワイド	12000K	有線調光	50Hz/60Hz	AC200V	286mA	51.7W
	SXB6005S-L	フロントナロー	~1800K					
	SXB6006S-L	ワイドフラッド	カラー調色					
3000TYPE	SXB6007S	フロントワイド	12000K	無線調光	50Hz/60Hz	AC100V	319mA	31.6W
	SXB6008S	フロントナロー	~1800K					
	SXB6009S	ワイドフラッド	カラー調色					
	SXB6007S-L	フロントワイド	12000K	有線調光	50Hz/60Hz	AC200V	162mA	31.5W
	SXB6008S-L	フロントナロー	~1800K					
	SXB6009S-L	ワイドフラッド	カラー調色					

◆無線調光タイプの製品について

- 当社指定のシステム機器をカタログを確認のうえ使用ください。
- その他の照明制御システムではご使用できません。
- 詳細は当社無線制御システム、取扱説明書を確認ください。
- 通信距離半径10m以内
※通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。
- 調光率1～100%（無線制御方式）
※調光時の明るさや色温度は調光率が低い場合はバラツキがある場合があります。

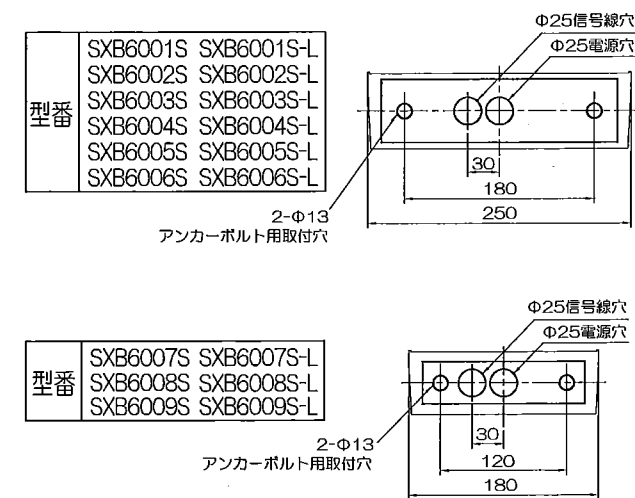
◆有線調光タイプの製品について

- Smart LEDZ System(無線制御システム)適合:調光調色器具。
- 当社指定の適合システム機器をカタログを確認の上使用ください。
- その他の照明制御システム(旧Smart LEDZを含む)ではご使用できません
- 調光調色を行うためには有線リピータ(別売)が必要です。
- 詳細は当社無線システム及び有線リピータの仕様図、取扱説明書を確認ください。

◆LED光源について

- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- LEDモジュールの交換はできません。

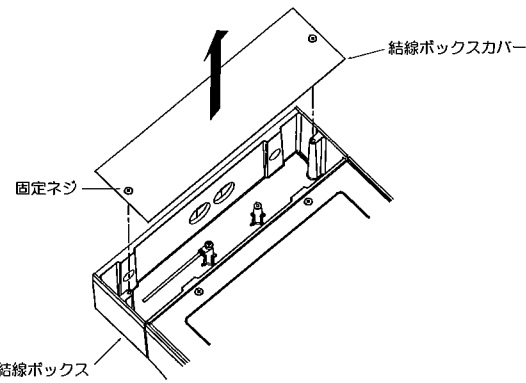
◆取付寸法



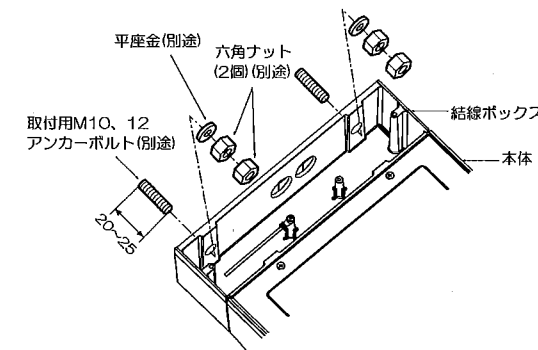
◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。
 2. 器具重量に耐える様、取付面の強度を確保してください。
- ⚠ 感電の原因となります。
- ⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損等の原因となります。

3. 固定ネジ（2個）を緩めて、結線ボックスカバーを取り外してください。

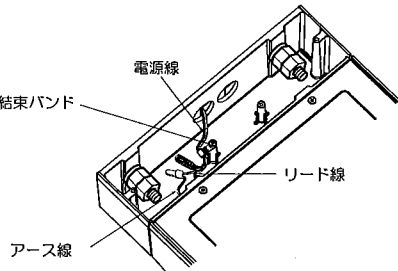


4. 本体を取り付けてください。
- 取付用アンカーボルト、六角ナット（2個）、平座金（ステンレス製）は別途ご用意ください。
- 指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
- 結線ボックスの取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、六角ナット（4個）で確実に締め付け取り付けてください。



⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

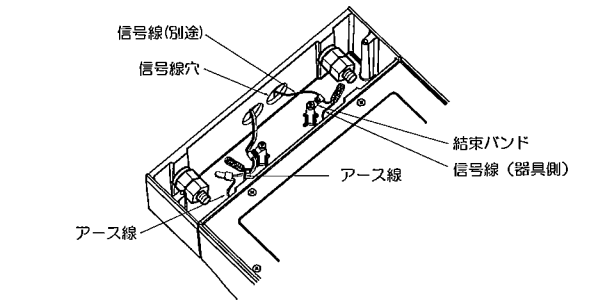
5. 電源線を結線ボックスの電源穴に通して、器具側のリード線を結線して、自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。
- 同時にアース線はD種接地工事を行ってください。電源線を結束バンドで固定してください。



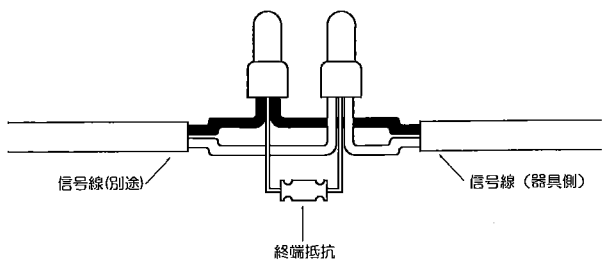
- ⚠ 結線ボックス内には水が入る構造です。確実に防水・絶縁処理を行ってください。短絡・感電・器具故障の原因となります。
- ⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。
- ⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

＜有線調光の場合＞

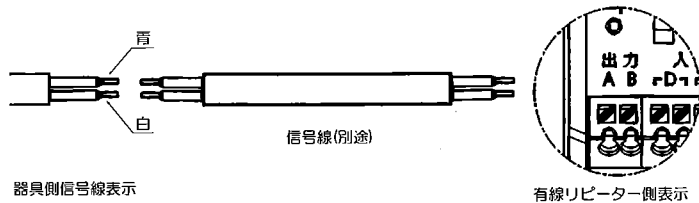
信号線(別途)を結線ボックスの信号線穴に通して、器具側の信号線を結線して、自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。



終端の器具には有線リピータに付属の終端抵抗を取り付けてください。
※終端抵抗に極性はありません。

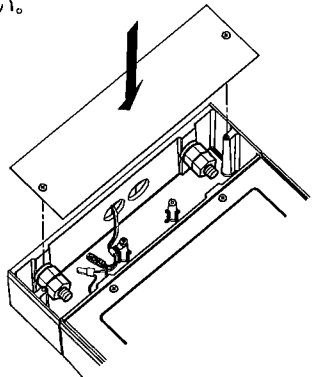


器具側信号線の極性表示(白:A、青:B)と有線リピータ(別売)接続の信号線の極性が一致するように接続してください。
※信号には極性があります。誤って接続すると故障の原因となります。



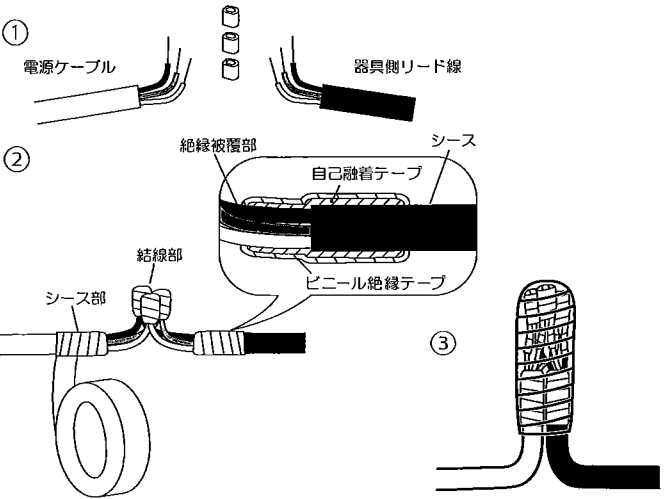
※信号線はCPEV Φ0.9-Φ1.2/Cu 単線 1対 ツイストペアをご使用ください。
※信号線を送り配線する場合の総配線長は800m以内としてください。
※結線ボックス内で、リード線と信号線が接触しないようにおさめてください。調光不良となる可能性があります。

6. 固定ネジ(2個)を締め付けて結線ボックスカバーを確実に取り付けてください。



◆ 結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が浸入する恐れがあります。
※ 結線部に直接水がかからないように結線BOX内での施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめてください。
- 電源ケーブルからの水の浸入を防ぐため、絶縁被覆部が見えなくなるまでテープで防水処理をしてください。

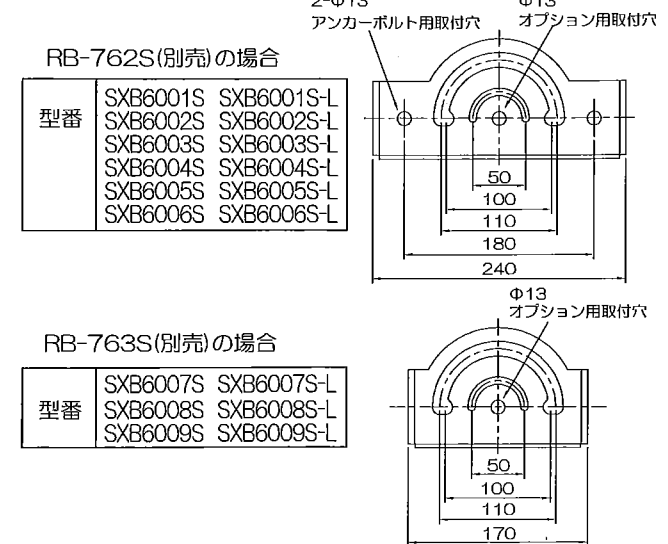
⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の電源となります。

◆ オプション (別売)

TYPE	型番	名称	備考
9000 5500	RB-760S	カットフード	
	RB-762S	可動アーム	
	RL-836S	ボールヘッド	
	RL-837S	1灯用	
3000	RB-761S	カットフード	
	RB-763S	可動アーム	
共通	RB-584S	アーム	可動アーム取付時 適合可
	RB-792S	900mm	
	RB-589S	アーム	
	RB-584S	600mm	
	RB-374SA	フレンジ	可動アーム取付時 適合可
	RL-834NA	ボール取付 1灯用取付台	
	RL-835NA	ボール取付 2灯用アーム	
	RL-803S	ボール取付 多灯用アーム	可動アーム+フレンジ 取付時適合可
	RB-786H/HA	スパイク	

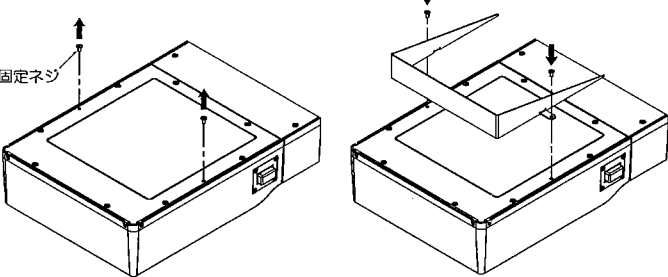
◆ オプション取付寸法



◆ オプション取付方法

＜カットフード＞

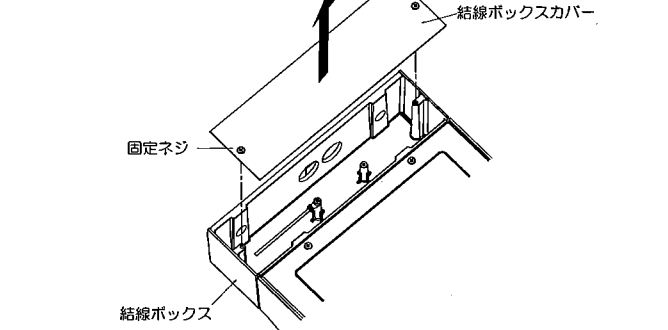
1. 下図の固定ネジ(2個)を取り外してください。
2. RB-760S/RB-761Sを固定ネジ(2個)で確実に取り付けてください。



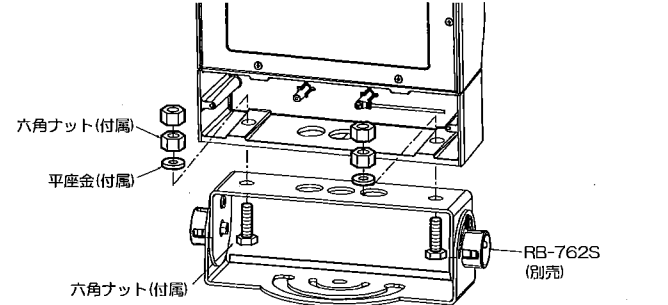
⚠ 取付けが不十分な場合、浸水の原因となります。

＜可動アーム＞

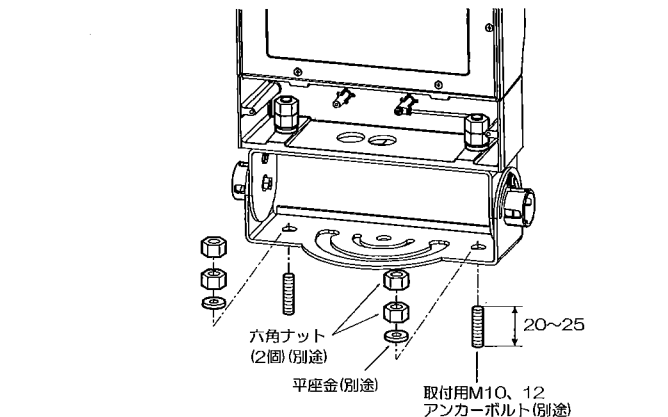
1. 固定ネジ(2個)を緩めて、結線ボックスカバーを取り外してください。



2. RB-762S/RB-763Sと本体を取付けてください。
● 付属の六角ボルト、六角ナット、平座金、スプリングワッシャをご使用ください。

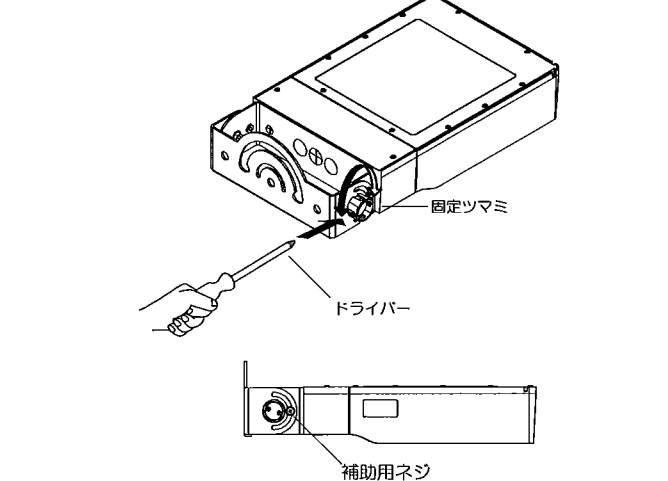


3. 本体を取付けてください。
● 取付用アンカーボルト、六角ナット(2個)、平座金(ステンレス製)は別途ご用意ください。
● 指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
● RB-762S/RB-763Sの取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、六角ナット(2個)で確実に締め付け取付けてください。



⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

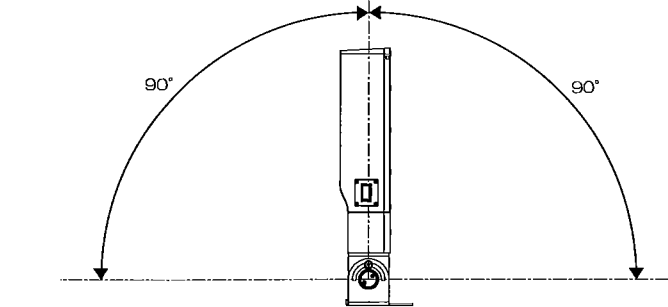
4. 本体の取付方法5~6と同様に結線し、結線ボックスカバーを取り付けてください。
5. 補助用ネジ(2個)を緩めて、固定ツマミ(2個)を緩めて本体を調整し、照射位置を合わせてください。調節後、固定ツマミ(2個)にドライバーを差し込み、確実に締め付け固定してください。補助用ネジ(2個)を締め付け固定してください。



⚠ 点灯中は灯体が高温になりますので十分にご注意ください。やけどの原因となります。

⚠ 角度を調整する場合、灯体を手で支えながら調整してください。灯体と取付面や可動アームの間で手を挟むことによる怪我の原因となります。

● 可動範囲



＜その他のオプション＞

- オプションに付属の取扱説明書をご参照ください。

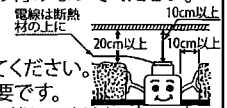
◎一部の製品を除き、器具の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご相談ください。
工事店様へ、この説明書は保守の為お客様にかならずお渡しください。

安全に関する

警告

- 器具は定格電圧±6%以内で使ってください。
→範囲外の電圧を加えると発熱し、火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分に冷めてから行ってください。
→感電・やけどの原因となります。
- 器具の改造、部品の交換をしないでください。
→火災・落下・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電気工事店にご相談ください。
→そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- 器具に燃えやすい物(布や紙など)を乗せたり近づけたりしないでください。
→火災の原因となります。
- 器具は設置環境を確認の上で使ってください。
→(浴室などの湿気が多い場所、海岸隣接地帯、粉塵の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用している屋内プール、オイルミスト(油飛沫)、振動や衝撃の多い場所など) 器具仕様と異なる環境に設置すると、不点・器具破損・感電・火災・腐食の原因となります。
- 器具に指定された取付け方向、点灯方向を守ってください。
→火災・落下・感電の原因となります。
- 埋設器具は、車両などの荷重がかかる場所、及び人の往来が多い場所、人が足で器具を踏むおそれのある場所では使用しないでください。
→器具破損により、漏電・感電の原因となります。

- 器具取付面の凹凸が大きい場合はパッキンと取付面のすき間をコーキング剤で埋めてください。
→器具内に水が入ると火災・感電の原因となります。
- 冠水する恐れのある場所、くぼ地などの水が溜まる場所には設置しないでください。
→浸水による火災・感電の原因となります。
- 草や木の近くに器具を設置する場合は、除草剤や肥料がかからないようにしてください。万一器具に除草剤や肥料がかかってしまった場合、水で洗い流してください。
→除草剤や肥料で器具が腐食し、浸水による感電・不点の原因となります。
- 設置場所には必ず排水処理工事を行ってください。
- ケーブル工事は電気技術設備基準などに準じ施工してください。
- 壁内および器具の背面から水がかかる場所へは取り付けしないでください。
→火災・感電の原因となります。
- 断熱施工方法は次のように行ってください。
・電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
・断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
・器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。
・断熱材・防音材で器具の放熱穴などをふさがしないでください。
→火災・感電の原因となります。



安全に関する

注意

- 器具周囲温度は35℃以上では使用しないでください。
施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
→指定外で使用になると、火災・短寿命の原因となります。
- 積雪地域で使用する場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
→器具破損の原因となります。

- ガラスグローブ、前面ガラスを取り付ける際、パッキン部分に付着したホコリ・砂・石などの異物を完全に取除いてください。
→異物が残っている場合、水の浸入により絶縁不良が生じる恐れがあります。

ご使用上の注意

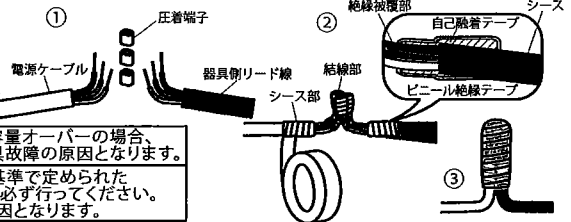
- 器具が破損・傷がついたまま長期間で使用になりますと錆が流れ出る場合があります。→定期的に点検・補修してください。
- 昼夜の温度差によりガラス内側に結露が生じる場合がありますが異常ではありません。→点灯すれば解消しますのであらかじめご了承ください。
- ラジオ・ワイヤレス方式の機器は、なるべく器具から離してご使用ください。雑音が入る恐れがあります。
- ゴムパッキン等の消耗品は定期的に点検し、傷んでいる場合は速やかに交換してください。
- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツツキがあるため、発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 無線制御調光システムの通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。
詳細は当社無線制御システム、適合灯具の仕様図、取扱説明書をご確認ください。
- 製品は予告無く仕様を変更することがあります。

◇口出し線器具 電源結線時の注意事項

電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛细管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。
※結線部に直接水がかからないよう防水BOX内での施工をお願い申し上げます。

- 同時にアース線はD種接地工事を行ってください。
- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。

- ⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- ⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。



点検・交換について

◇寿命について

- 器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
*使用条件は周囲温度30℃以下、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合、電源スイッチON/OFFの回数が多い場合は寿命が短くなります。

◇点検・交換について

- 安全にご使用頂くために、1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。
(「安全チェックシート」は(一社)日本照明工業会のホームページ <http://www.jlma.or.jp/index.htm> をご覧ください)
- 点検を行うために設置場所、設置方法には十分考慮頂いたうえでご使用お願い致します。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などにいたる恐れがあります。

保証について

◇保証について

- 照明器具の保証期間は、製品お買上げの日(お引渡し日)より3年間です。3年以降の2年間は同品(同等品)を無償提供させていただきます。
LEDランプに関しては製品お買上げ日(お引渡し日)より5年間は同品(同等品)を無償提供させていただきます。
無償提供品に関しては、取り付け・取替えなどの交換費用は含まれません。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とさせていただきます。

◇補修用性能部品(電気部品)について

- 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。
- 補修用性能部品には、同等性能を有する代替え品を含みます。

お手入れ・清掃方法(⚠必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。)

◇器具の清掃について

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布などで、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- ベンジン、シンナー、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。